

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

著作権者への配慮から現時点での掲載を控えております。

へらのえす。者かて控ま権慮点をり作配時載お著の現掲て

(注) 印章＝印。はんこ。

(港千尋『書物の変』による)

1 □とあるが、次のア～エの傍線を付けたカタカナを漢字になおしたとき、「紙」と部首が同じになるものはどれか。一つ選び、記号を○で囲みなさい。
ア 研究で業セキをあげる。 イ 予ボウ策を講じる。
ウ これはイ大な芸術家の作品だ。 エ 岩をフン砕する。

2 □とあるが、次のうち、筆者が「波の化石」を見て、このように表現した理由として、本文中で述べられていることがらと内容の合うものはどれか。最も適しているものを一つ選び、記号を○で囲みなさい。

- ア 太古の昔に残された、美しい波のパターンが、ついたレマン湖の湖底を、薄く削り取ったものであるとわかったから。
- イ 太古の昔に波によって残された痕跡が、光によって残される瞬間の痕跡である写真のはじまりであるということに気づいたから。
- ウ 太古の昔に残された、波紋のついた砂地や泥地が、遙かな時を経た今も、そのままの状態でレマン湖に残っているということを知ったから。
- エ 太古の昔、レマン湖の湖面にたった波が、遙かな時を超え目の前に現れたように感じ、膨大な時間の塊を薄く削り取ったようなものに見えたから。

3 次のうち、本文中の□③、□④に入れることばの組み合わせとして最も適しているものはどれか。一つ選び、記号を○で囲みなさい。

- ア □③ 痕跡
- イ □③ 痕跡
- ウ □③ 文字という文化現象
- エ □③ 文字という文化現象
- ア □④ 痕跡
- イ □④ 痕跡
- ウ □④ 文字という文化現象
- エ □④ 文字という文化現象

4 □とあるが、本文中で筆者がこのように述べるのは、技術としての痕跡がどのようなものであるからか。その内容についてまとめた次の文の□に入る内容を、本文中のことばを使って三十字以上、四十字以内で書きなさい。

技術としての痕跡は□ものであるから。

二 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

への掲お者らでえ権か点控著作慮時をま著配現載り

(注) 顔回＝孔子の弟子。

日よみ＝ここでは、十五のいよ。

1 □とあるが、次のうち、このことばの本文中での意味として最も適しているものはどれか。一つ選び、記号を○で囲みなさい。
ア 事実を伝えた方が良だろう。 イ 何か理由があるだろう。
ウ 物事を良く知っていることだ。 エ 当然のことだ。

2 □を現代かなづかいになおして、すべてひらがなで書きなさい。
孔子が、□ a 様子を見て「牛よ」と言ったのは、□ b と

いうことからであり、弟子たちがそれを理解できるかをためそうとしたのではないかという考え。

ア 牛という文字と十二支の午という文字は、文字の上の部分がつき出ているかどうかの違いしかない。
イ 馬は、十二支では午という文字で表されるが、牛という文字と似ているので書き間違えやすい。
ウ 十二支の午という文字の上の部分をつき出るように書くと、牛という文字になる。
エ 馬という文字も十二支の午という文字も、牛という文字がもとになってきた。

三 次の問いに答えなさい。

1 次の(1)～(4)の文中の傍線を付けた漢字の読み方を書きなさい。また、(5)～(8)の文中の傍線を付けたカタカナを漢字になおし、解答欄の枠内に書きなさい。ただし、漢字は楷書で、大きくていねいに書くこと。

- (1) 粋な計らい。
- (2) 頹いのひとときを過ごす。
- (3) 稚魚を放流する。
- (4) 素晴らしい音楽に陶酔する。
- (5) フタタビ挑戦する。
- (6) 期待をヨせる。
- (7) ケイトウ立てて考える。
- (8) 遊びにキョウじる。

2 次のうち、返り点にしたがって読むと「字は以て已むべからず。」の読み方になる漢文はどれか。一つ選び、記号を○で囲みなさい。

- ア 学、不、可、以、已。
- イ 学、不、可、以、已。
- ウ 学、不、可、以、已。
- エ 学、不、可、以、已。

四 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

著者への掲載点配
 者慮から現時点
 配載の掲載点
 著へか現の控り

著作権者への配慮から現時点での掲載を控えております。

1 本文中の①には「ありとあらゆる時代と場所」という意味の四字熟語が入る。次のことばが①に入れるのに適した四字熟語になるように、
 ① a、 b に入る漢字一字をそれぞれ書きなさい。

- 古 ① a 東 b

2 ②とあるが、文学におけるリアリティについて、本文中で筆者が述べている内容を次のようにまとめた。 a、 b に入れるのに最も適しているひとつづきのことばを、それぞれ本文中から抜き出しなさい。ただし、 a は十五字、 b は十六字で抜き出し、それぞれ初めの五字を書きなさい。

リアルとは、具体的な手触りがあることだけでなく、 a に手触りがあることでもあり、文学のリアリティは b に支えられている。

〔瀬山士郎『数学想像力の科学』による〕

著者への掲載点配
 者慮から現時点
 配載の掲載点
 著へか現の控り

3 ③とあるが、本文中で筆者は、普通の言葉と比べて、数学記号はどのようなものであると考えているか。その内容についてまとめた次の文の に入る内容を、本文中のことばを使って五十五字以上 六十五字以内で書きなさい。

数学記号は、普通の言葉のように という点で私たちに難しさを感じさせてしまうものではないかと考えている。

4 次のうち、本文中で述べられていることがらと内容の合うものはどれか。最も適しているものを一つ選び、記号を○で囲みなさい。

- ア 人は想像力を駆使してさまざまなものを創りだしてきており、文学、音楽などの芸術作品も、具体的なものを扱った作品を除いて、基本的には想像力によって生み出された作品である。
- イ ルイス・キャロルは、「不思議の国のアリス」という童話の中で、笑いだけを残して消えてしまうチェンパ猫という比喩を用いることによって、概念だけを残して消えてしまう数について説明した。
- ウ 読書の最大の面白さの一つは、自分の知らなかった知識を得るためだけに、想像力を羽ばたかせ、自分の見知らぬ世界への空想の旅を楽しむ、自分の世界を広げていくことである。
- エ 読書を通して世界を広げていくことと同じように、数式交じりの文章を読めるようになると、数学の想像力に支えられた、異世界への空想の旅を経験することができる。

受験
番号

番

得点

○

二						
3				2	1	
b	a					ア
ア						イ
イ	20 様子を見て					ウ
ウ		10				エ
エ						

一									
4						3	2	1	
40 ものであるから。						技術としての痕跡は	ア	ア	ア
							イ	イ	イ
							ウ	ウ	ウ
							エ	エ	エ
							エ	エ	エ

9	2	4	1	2	採点者記入欄

11	4	3	2	2	採点者記入欄

四															
4	3							2	1						
ア	55 数学記号は、普通の言葉のようには							b	a	㊸					
イ															
ウ															㊹
エ															
エ															

三								
2	1							
ア	(8)	(7)	(6)	(5)	(4)	(3)	(2)	(1)
イ					陶	稚	憩	計
ウ	じる		せる	び	酔	魚		
エ							い	らい

15	3	6	2	2	2	採点者記入欄

10	2	1	1	1	1	1	1	1	1	採点者記入欄